

第10号 2007年3月

特集 戦後東アジアにおける人の移動と20世紀史の再展開

特集論文

川島 真

特集にあたって

恩河 尚

戦後沖縄における引き揚げの歴史的背景とその意義

山本 真

第二次大戦後、台湾海峡兩岸における人の移動とその背景、■（門に虫）台関係の視角から——一九四五年～一九五〇年代初頭——

小林 聡明

帰還・密航・送還—GHQ 占領期における在日朝鮮人の移動とメディア—

小林 英夫

戦後東アジアにおける日本人団体の活動—引揚げから企業進出まで—

論文

鈴木 智夫

日露戦争後半期における露西亞駐在中国公使胡惟徳の和平構想

谷ヶ城 秀吉

戦時経済下における国策会社の企業行動—台湾拓殖の華南占領地経営を事例に—

五島 敏芳

記録史料管理におけるデータベース構築—情報共有の技術的側面をふまえた協業の提案—

研究ノート

後藤 康行

「映画工作」研究の方法論

渡辺 佳子

個人上保護制度と公文書館制度

書評・学会動向・活動報告・東アジア近代史学会の歩み・研究大会予告